

交通安全功労者表彰受賞

中区の藤山憲生さんは、平成19年から長きにわたり、安全対策協力員として亀岡川東学園に通学する馬路町中区の児童の集団登校に毎日欠かさず随行し見守っていただいている。また、その後、学校前の横断歩道において、横断旗をもって、児童生徒の安全な横断の誘導を行っていただき、通学の安全に努めています。

その多大な功績により、5月18日(木)に亀岡市交通安全対策協議会より交通安全表彰を受けられました。おめでとうございます。

「通学の安全の見守り活動を通じて、他の地区の人たちとも知り合いになりました。」と言っておられました。(中川 和子)



亀岡川東学園 交通安全の呼びかけ

7月14日(金)午前7時30分から午前8時30分にかけて、亀岡川東学園正門前で、関係者約30人により、「亀岡川東学園交通安全の呼びかけ」を行いました。亀岡川東学園通学路となっている市道池尻宇津根線の府道宮前千歳線交差点から同校正門前までの区間(約400m)には歩道が無く、子どもたちの横を高速で走行する車もあり、登下校に危険を感じることがあります。今日まで、安全な通学を確保するため様々な取り組みを行っていますが、この度、亀岡警察署や亀岡市等関係機関と皆様のご理解とご協力により、3月末に制限スピードの引き下げ(40km/h→30km/h)、7月10日(月)に狭窄の設置(4か所)が行われました。今回の呼びかけ活動は、こういったことを広

く知つてもらうことやドライバーへの理解と協力をお願いするために行ったものです。当日、約100台のドライバーの皆様にチラシを配布し、安全運転のお願いをしました。引き続き、皆様とともに通学の安全確保の取り組みを進めていきたいと考えておりますので、ご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。



保育園児がいもほり楽しむ

7月5日(水)に農作業受託組合の皆さんにお世話になり、3月に植えたジャガイモ掘りにいきました。子どもたちは保育所の窓からジャガイモの成長を眺め心待ちにしていたので大喜び。0歳～5歳児全員参加し大きな畑全部収穫することができました。男爵、きたあかり、マークインと畠ごとに様々な種類が植わっており、それぞれの品種の違いを学びながら収穫できました。5歳児の子どもたちは掘ったジャガイモを使ってクッキングする予定で、メニューは保育所のおやつでも人気の青のりポテトです。きっと美味しくできることだと思います。貴重な体験をさせていただき本当にありがとうございました。(保育所より)



第8回グラウンドゴルフ大会 開催

今年も猛暑の中6月18日(日)川東学園グラウンドにおきまして馬路町世代間交流事業の一環として、第8回馬路町民グラウンドゴルフ大会が開催されました。参加チームは22チームで日頃の練習成果を発揮できた方や初めて参加された方、また、人との交流を楽しんで参加される方などでグラウンド内は活気と笑顔溢れるひとときでした。成績は以下の結果です。

団体優勝：自治会OB2・7会
2位：自治会OB2・4会
3位：北区A

個人優勝：人見 肇夫さん
2位：名倉 正子さん
3位：畠 末雄さん

ホールインワンの数：18
(河原孝子)

優勝おめでとうございました!



みなさんお疲れ様でした!

農業の担い手不足から、このまま放置すれば数年後には荒地となるほ場が続出することが懸念されます。この対応策として、令和2年度から、京都府農業会議及び亀岡市の指導・助言を受けながら、農地の一括管理(農地の集積)による農地・農村環境の円滑な保全管理を行うことを目指した取り組みを進めてきました。本取り組みへの参加の有無に対する最終集計の結果、町内の農地所有者の92%の方から、また、町外の農地所有者の75%の方から、町内外合計では87%の方から本事業への参加の意向をいただきました。どうしても連絡の取れない方があります。が、目標としていました農地所有者の80%の参加率の確保は確実となりました。従いまして、現在、亀岡市を通じて、国(京都府)、農地所有者、地元農地管理組織との間ににおける農地の保全管理にかかる事務手続きを行ったための作業に入っています。なお、並行して、地元農地管理組織となる「一般社団法人・馬路町農地管理センター」の設立に向けて準備を進めています。今後とも、丁寧にそして公平・公正な取り組みに努めてまいります。本取り組みが円滑に進んでもありますように、ご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

なお、疑問な点は、準備委員会(自治会内0771-2210661)までご遠慮なくお問い合わせください。

新宮農組織
準備委員会からの報告